

# GT-SCALING SETマニュアル (ガラス面専用の磨きセット)

## 1. SCALING SETで出来ること

- ① ガラス面に付着した、鱗汚れや油膜、ワイパー傷などの小傷の除去
- ② 薬品などによるガラス表面のシミや曇りの除去と透明度の回復
- ③ ガラス面用、撥水コーティング剤の下地処理

## 2. 油膜や軽度の汚れの除去

- ① **メンテナンス・スポンジ**に少量**G-CLEAN**を付けてガラス面を擦り磨きます。(必ず手磨きで行うこと)
- ② 施工面やスポンジに軽く水を付けることで、スムーズに作業できます。
- ③ 適度にコンパウンドと水をつぎ足しながら作業を進め、完了したら良く水洗いします。
- ④ ホースで水を掛け、施工面全体に水弾きがなければ施工完了です。

## 3. ガラス面・コーティングの下地処理

- ① 2.の通り**G-CLEAN**で作業して、下地洗浄を行います。
- ② **G-CLEAN**だけで、既存の撥水コーティングや鱗汚れが取れない場合は、**G-CUT**を使用します。
- ③ **G-CUT**は**SCALE-PAD**と組み合わせて使用します。(オービタルサンダーで作業します)
- ④ **G-CUT**を**SCALE-PAD (TYPE-C)**に少量付けて磨きます。研磨剤が乾いたら霧吹きで 水を掛けて作業を続けます。**TYPE-C**で取れない場合は**B・A**と順次PADを変更します。必ず最後は、**TYPE-C**で仕上げ磨きして下さい。

## 4. 鱗汚れの除去(軽度)

- ① 鱗汚れの除去は、研磨と薬品処理の2通りの方法があります。
- ② 軽度の鱗汚れは**SCALE・クリーナー**で簡単に除去できます。まず、**メンテナンス・スポンジ**に少量**SCALE・クリーナー**を塗布し汚れた部分を軽く擦ります。粘る場合は少量、水を付けて調節します。軽く泡立つ位が適当です。**SCALE・クリーナー**は化学反応で汚れを分解します。力を入れるよりも汚れに、液剤を馴染ませるイメージで擦って下さい。
- ③ **SCALE・クリーナー**は**素手で使用する**と**人体に有害**です。必ず手袋、メガネを着用して下さい。
- ④ **SCALE・クリーナー**使用後は、「**大量の水で洗い流し、残留成分が残らないように、周辺もよく濯いでください。**」又、**アルミホイールなどの金属**とも反応しますので、作業時に垂れた成分が残らないように注意して下さい。
- ⑤ **SCALE・クリーナー**は、鱗汚れだけでなく、ガラスや金属、シリカ系コーティングとも反応します。場合によって、曇りやシミ、表面の劣化が起こる場合があります。便利な薬品ですが、**必ず部分的にテストして自己責任で施工して下さい。**(塗膜への影響は通常のクリーナー程度です。)
- ⑥ 万一、**SCALE・クリーナー**による、シミや曇りが発生した場合は、研磨して復元するしかありません。
- ⑦ **復元の方法は、以下、5.の重度の鱗汚れと小傷の除去を参考にして下さい。**

\* 当社のテストでは、短時間の作業では、殆どの場合、問題は発生しませんでした。が、車種によりガラスの質が違いますので、必ず、目立たない部分でテストしてからお使い下さい。

## 5. 重度の鱗汚れと小傷の除去

- ① **SCALE・クリーナー**で汚れが落ちない、若しくは、使用をためらう場合は、研磨による方法があります。
- ② 鱗汚れの研磨は**G-CUT**と**SCALE-PAD**で行ないます。**G-CUT**はガラス研磨専用開発されたコンパウンドです。**SCALE-PAD**との組み合わせで、ガラス面を傷つけることなく、固着した鱗汚れやワイパー傷も除去できます。
- ③ 鱗汚れの除去には、**SCALE-PAD (TYPE-B)**を使用します。3と同様に**G-CUT**を少量**SCALE-PAD (TYPE-B)**に付けて指で軽く延ばします。(コンパウンドは必ずPAD面に付けて下さい)
- ④ 研磨にはオービタルサンダーを使用します。(オービット3mm程度で、水を使う為、非吸塵が推奨です。)
- ⑤ **TYPE-B**で研磨に時間がかかる場合や、傷や曇りの研磨には、**TYPE-A**を使用します。
- ⑥ 必ず最後は、**TYPE-C**で仕上げ磨きして下さい。

## 6. 使用する資機材の特性

- ① ガラス用コンパウンド、**G-CUT**は研磨剤がガラスと反応することにより研磨力を発揮します。コンパウンドが乾き始め研磨面が暖かくなり、PADの摩擦力と相まって研磨力が高まります。通常の研磨剤と違い、PAD面に付着していれば研磨力が持続します。PAD面が乾いたら水をスプレーすることにより再使用できます。(研磨力が落ちたら適宜**G-CUT**を追加して下さい)
  - ② **SCALE-PAD (TYPE-A)**は摩擦力が大きく、稀に研磨面に小傷が入る場合があります。その場合は、**TYPE-B**か**C**で簡単に傷を除去できます。**G-CUT**の付け過ぎによる研磨剤の凝集で傷が入る場合がありますので補水とコンパウンドの延しには、ご注意ください。
  - ③ **G-CUT**は研磨剤が沈殿し易く、保管時に分離しますが品質に問題ありません。使用前は良く振ってご使用ください。
  - ④ 深い傷や、よりスピーディーな研磨には、別売りの**U-A53P-GT(ミニ・Wアクションサンダー)**と**SCALE-PAD (TYPE-D)**の組み合わせがお勧めです。
- \* 但し、Wアクションは小傷が入るリスクが高まりますので、仕上げはオービタルサンダーがお勧めです。

## 7. その他の注意点

- ① 推奨機種以外のオービタルサンダーをお使いの場合、オービットが小さいと十分な研磨力が出ない場合がありますので、ご注意ください。
- ② Wアクションは、オービットが大きいと、傷が入り易くなりますので、なるべく推奨機種をお使い下さい。
- ③ **SCALE・クリーナー**は**素手で使用する**と**人体に有害**です。必ず手袋、メガネを着用して下さい。
- ④ コンパウンドを使用する場合は必ず、手袋、メガネを着用して下さい。
- ⑤ 各、薬品が皮膚に付着した場合は速やかに水で洗い流し、誤って飲んだ場合は直ぐに 医師の指示を受けて下さい。
- ⑥ 飛び石の傷や、ウインドウリペアの箇所は研磨で傷が広がる場合があるので注意して下さい。

\*施工に関するお問い合わせは 綱ジューアンドティー 042-704-8275 までお願いします。